
俺の歪んだ思考

ファイアドレイク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の歪んだ思考

【Nコード】

N97470

【作者名】

ファイアドレイク

【あらすじ】

暗い路地裏に孤独な少年が一人、表通りの光から隠れるようにたたずんでいた。

次第に夜も更け、雨も降ってきた。

少年は思う。何故と。

(前書き)

流血表現はありませんが、少し暗い雰囲気ですのでご注意ください。

雨が降っている。それは俺の悲しみを表してなどいない。そんな自然現象なんかに、俺の悲しみを形容する資格など無い。

人通りの少ないここは、独りになるにはもってこいの空間で、だから俺はいつもここに來ていた。

雨が冷たい。雨までも、俺に対しては冷たい。

晴れの日も雨の日も雪が降る日も、いや台風が直撃した時でさえ、俺はこの場所に居た。いや、ここにしか居られなかった。居場所がなかった。

存在を、存在すら許されない俺が、ただここだけの中では存在することを許可された。

多分明日は風邪をひくだろう。そして親はいつものことだと呆れ、クラスメートも俺のことを心配なんてしないだろう。するわけがない。

でも、どうでもいい。学校を休む。授業が分からない。それでもいい。何でもいい。

家では兄貴と比べられ、学校では平均と比べられ。俺は疲れた。何度となく兄貴を殺そうと思った。クラスメートを虐殺しようとも思った。拷問でも良かった。

しかし残念なことに、兄貴自身は何もしていない。クラスメートに、俺が劣っていると思わせたのは、担任の教師だ。なら彼らを殺そうとも考えたが、しかしそれは難しい。大人になるまで悠長に待っているものなら、ようやく準備が整った時に、そいつらが死んでいるかも知れない。

他人を殺せない時、人間は殺意を自らに向ける。正気を保つための、正当防衛。

そんなことを考えて時間をつぶす。こちら辺ではたまに、捨てられ猫を見かけることもある。人目がないからだろう。しょせん人間

はそんな生き物だ。ルールやマナーという力で押さえつけなければ、すぐに人間を捨てる。ケダモノになる。

どうやら今日も、そんなケダモノの餌食になった猫がいるらしい。いや、いたらしい。既に生命の灯火は消えていた。

これは僕が歪んでいるからだろう、俺はその猫にあらうことか“嫉妬”した。

ふざけるな、と怒る人はまだ人間だ。俺はもう、人間とは言えないくらいに歪んでいる。だから僕は嫉妬する。

君みたいに何も分からず逝ってしまえたらな、と呟く。真夜中の路地裏に、虚しく声が吸い込まれる。

雨でぐっしりと濡れて、灯火の最期の温もりすら消えてゆく子猫を抱きしめた僕は、ひたすらに泣いていた。もう涙は枯れたと思っていたのに。

家族に、クラスメートに、人間に、世界に、全てに拒まれたことを泣いた。俺が何をした。いったい、何をしたっていうんだ。

雨に濡れた子猫を、涙でさらに濡らす。なぜか、その子猫に親近感を覚えた。同じ、拒まれた者どうし。

今、君の元に行くよ。そう呟いて、濡れたアスファルトの上に、丁寧に子猫を降ろす。

子猫の亡骸は、まるでガラスから作られた芸術作品のようで、丁寧さとそれに相応しい敬意をもって取り扱わなければ、たちまち壊れてしまいそうで怖かった。

子猫は壊れなかった。良かった、これで思い残すことなく逝ける。俺は暗くて地味な路地裏から、明るくて派手な大通りへと飛び出した。一生求めて、ついに獲得出来なかったもの。汚してやる。俺をお前らの記憶に叩き込んでやる。

歩道をわざと邪魔になるように横切り、上目線の怒声をかわしながら、俺は車道に入っても勢いを緩めなかった。

(後書き)

初めて此処に投稿する作品です。
私のSSの中ではまだマシな方です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9747o/>

俺の歪んだ思考

2010年11月18日01時01分発行